あさひなのはな保育室　保育室の自己評価

①　法人理念

社会福祉法人わかば会は子どもの最善の利益を尊重しその保護者の就労と地域の子育て支援を目的として経営を行い地域の福祉を積極的に推進する

②　令和２年度あさひなのはな保育室の保育方針

1　一人一人の子どもの思いを丁寧に受け止め、個々の発達を理解し子どもに寄り添った前向きな保育を行う
2　四季折々を通した行事や、遊びなどの様々な経験を通して豊かな感性や自ら進んで生き生きと活動できるようにする
3　挨拶や言葉遣い、人との接し方、片付けなど子ども達の見本となる
4　保護者に子どもの育ちの姿を丁寧に伝え、成長や子育ての喜びを感じることができるように支援する
5　職員は保育所の役割の多様化を理解し、自らの保育を振り返りながら、職務にふさわしい倫理観を身につけ、保育室全体の質の向上に努める

③　令和２年度目指す子ども像（園目標）

1　心も体も元気な子
2　心の豊かな子
3　自ら進んで頑張る子

④　令和２年度求める子どもの姿

健やかに 伸び伸びと育つ	あたたかな環境の下で受容され、自分のやりたいことを積極的に行いながら伸び伸びと身体を動かし、健康かつ安心して過ごすようになる 見守られながら、食事を摂る、着替え、トイレトレーニングなど、身の回りのことを自分でできるようになる
身近な人と 気持ちが 通じ合う	身近な人に受容・応答されながら、自分の感情を表したり、保育者や友達と関わりながら言葉のやり取りやごっこ遊びを楽しんだりするようになる 安定した環境の下、身の回りの様々な人と関わりを持って過ごす中で、決まりがあることや相手の気持ちに気付くようになる
身近なものと 関わり・ 感性が育つ	主体性を尊重した生活や遊びを通して、探求心や好奇心、豊かな感性を身につける 身近な環境に親しみ触れ合う中で、植物、動物、自然現象に興味関心を持つようになる 友達や保育者、地域の方との触れ合いを通し、思いやりや信頼感を身につけ、見守られながら育つ喜びを味わう

⑤　評価

自己評価の基準
Ａ　よくできた
Ｂ　ほぼできている
Ｃ　次年度以降努力課題

領域	評価の観点	自己評価	
運営体制	１能率的、合理的な運営組織になっているか	Ａ	
	２職務内容が明確で協働できる体制か	Ａ	
	３職員の配置は適材適所か	Ａ	
	４行事の分担や担当の振り分けは適切か	Ａ	・年度が始まる前に担当を平等に振り分けるように行っている
	５各種会議を適切かつ効率的に進めているか	Ａ	
	６職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言をし、施設の運営に関わっているか	Ａ	
	７打ち合わせ回数、時間、内容は適切か	Ａ	
	８保育方針の周知・反映はできているか	Ａ	・全体会議や個別指導を通して周知を行い、保育目標を意識して保育する様子が多く見られるようになった
	９開かれた園の運営をしているか	Ｂ	・保護者参加行事を計画したが感染症対策により、中止とした ・地域の方の保育施設見学などは適宜対応した
保育目標	１保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	Ａ	
	２目標は各施設や地域の特色を生かしているか	Ａ	
	３目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか	Ａ	
	４目標は前年度の反省を生かしているか	Ａ	
	５目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	Ａ	

保育計画	1 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A	
	2 保育所保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか	B	・新任職員に対し十分周知できなかった 次年度は会議等で指針について周知し、適切な支援を目指していく
	3 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	A	
	4 素材・用具を適切に活用しているか	A	
	5 評価結果を基に保育の改善に努めているか	A	
年齢別・クラス経営・日々の保育	1 年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定できているか	A	
	2 年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか	A	
	3 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	A	
	4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	A	
	5 意義や趣旨を理解した保育を行っているか	A	
	6 教育・保育の意欲はあるか	A	・各年齢別で月案作成を行い、個々の発達を理解して計画を立て目標に向かい、達成へと努力することができた
	7 指導の工夫改善をしているか	A	・各年齢別で発達シートを利用しながら一人一人の成長を理解し発達にあった保育を提供することができた ・指導内容や目標達成に向けての指導方法や手段について、保育者間で連携し保育にあたることができた
	8 気になる子への対応は適切か	B	・集団での保育を重視するあまり個々の発達や子どもの気持ちに添えない指導等も見られた 職員へ保育方針の周知を図るとともに、関わり方や指導方法などを伝えていく

年齢別・クラス経営・日々の保育	９特色ある教育活動を取り入れているか	A	
	101日の流れは現行で良いか	A	
	11 遊びの指導は適切か	B	・年度前半は感染症対策として、戸外遊びを制限したが、次年度は感染症対策をしながら、改めて子どもたちの健やかな成長にとって何が大切かを考え保育を計画していく
	12 道徳性の芽生えができるような取り組みをしているか	B	・当番活動を行い他の園児の見本となる意識を育てることができた ・次年度は挨拶の取り組みについて積極的に取り組んでいく
	13 年齢に合わせた生活習慣指導ができているか	A	・基本的な生活習慣の定着は、各年齢で発達段階に沿って取り組むことができた
	14 身近な人への親しみが持てるような取り組みをしているか	B	・子ども達が自ら挨拶をすることを通じて地域の人々との関わりを深めていく
	15 幼児の人間関係は円滑か	A	・友達との接し方、自分の思いの伝え方などについて、個々の子どもの気持ちに寄り添いながら根気強く指導することができた
	16 子どもと保護者と保育者の信頼関係は築けているか	A	・保護者アンケートでも職員の丁寧な対応であったとの評価をいただくことができた
	17 園児は園への適応をしているか	A	・個々の発達、家庭環境に配慮した対応を心掛け実践することができた
	18 食育活動を行っているか	A	・感染症対策をしながら食育活動に取り組み、子ども達の食に対する興味、関心を引き出すよう努めることができた
	19 主体的に学びが芽生えるような取り組みを行っているか	A	・子ども達が様々な事に興味を持つ機会を作り、意欲的に活動や発表ができるよう支援することができた
	20 体力が向上するような活動をしているか	B	・天気の良い日はお散歩や公園遊びを行い、体を十分動かす機会を作ることができた ・次年度の取り組みについては感染症対策を踏まえ検討していく
行事	1 行事の種類や実施回数は適切か	A	
	2 行事のねらいを計画や実施に生かしているか	A	

行事	３乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動をしているか	A	
	４計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	A	
	５保護者の願いや意見を取り入れているか	B	・保護者アンケートに基づき、保護者の希望を汲み取った保育に努める
	６行事への取り組みは適切か	A	
保健・安全指導	１年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか	A	
	２避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	B	・次年度は今年度計画しなかった竜巻や水害等の避難訓練を実施し、様々な災害や事故に対応できるようにする
	３健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為家庭への啓発を行っているか	A	
	４乳幼児の安全確保の為家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	A	
	５年齢に合わせた健康・安全指導を行っているか	A	
研究・研修	１研修・研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	A	
	2.園内研修の計画・運営は適切か	A	
	３研修・研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか	A	
	４研修・研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか	A	
	５外部の各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか	A	
	６外部の各種研究会、研修会、講習会での内容を園内で共有しているか	A	
情報	１乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	B	・取り扱いについて、全体会議等で周知する
	２公文書収受、発送、処理を適切に行っているか	A	
	３各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか	A	

施設・設備	1 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか	A	
	2 施設・設備・用具等を活用しやすいよう整理・保管しているか	B	・ラベリングなどを行い全職員が把握できるように努める
	3 不審者等への対策を行っているか	B	・途中入職者へ周知が十分でなかった為実際に防犯対応を見ながら把握してもらえるよう努める
	4 環境の整備をしているか	A	・定期的に保育室内の玩具の配置点検、棚やロッカー、ベッドの整理整頓を行い、使いやすさに努めた
	5 掲示板、掲示場所等を適切且つ効果的に活用しているか	A	
出納経理	1 各種会計を適切且つ適正に処理しているか	A	
保護者	1 保護者との連携は取れているか	A	・連絡ノートや送迎時、電話などで話をし、密に連携を図ることができた
	2 親支援となる活動を行っているか	A	
施設間交流・連携	1 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものか	A	
	2 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っているか	C	・感染症対策として実施できなかった為、次年度は戸外での活動を計画、実行していく
	3 指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか	A	・オンラインを活用して、共通理解を図ることができた
	4 参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園・小学校の教育を理解しているか	B	・実際に参観などはできなかったが作品交流を通じて、取り組みに対しての理解を深めることができた
	5 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか	B	・施設長、業務検討委員会は対策を行いながら、回数を減らすことなく実施することができた
	6 幼保小中と連携した事業を行い、子ども教育連携推進に取り組んでいるか	B	・機会は少なかったが、幼保小中連絡協議会を通し、他機関との交流や情報交換を行うことができた

家庭・地域社会との連携	1 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか	C	・感染症対策として実施しなかったが、次年度は状況を見ながら計画をしていく
	2 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	A	
	3(乳)幼児の興味関心に基づいて地域社会・その他施設と交流しているか	A	・感染症対策の為、地域との関わりに制限があったが、できる範囲で交流を行うことができた
	4 地域の行事に積極的に参加し地域の文化や生活に触れているか	A	・園の活動に協力してもらう地域のお店や施設等の交流回数は、感染症の影響で少なかったが、交流方法を模索しながら連携をとることができた
子育て支援の推進	1 地域の子育てセンターとして園庭や保育室等を開放しているか	B	・保育室を「赤ちゃんスマイルスポット」として提供している
	2 地域に住む子ども同士あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定をしているか	B	・公園遊びを取り入れ、地域の子供や保護者と関わりを持てるようにしている 今後も積極的に働きかけていきたい
	3「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	B	・実施していないが地域の講演会への案内などを配布し、学習の機会を周知している
	4 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか	A	
	5 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか	A	
情報の発信	1 園の公開に努めているか	A	
	2 保育園のお便り・ホームページ等で施設の情報を発信しているか	A	
	3 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	A	
園内・外部評価	1 保育の評価を行っているか	A	
	2 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	A	
	3 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	A	

⑥　総合評価と次年度への課題

- 新型コロナウイルス感染症が拡大する中でもリモート研修などが行えるよう、一早くネット環境やパソコンを整備し研修に参加できる体制を作った
- リモートでキャリア研修を積極的に進め職員の資質の向上に努めることができた
  また全職員への研修内容の周知は会議や朝礼で資料を回覧したり、個別に言葉を掛けたりするなどして研修成果を保育に生かすことができるよう努めた
  来年度も全職員が積極的に保育の質の向上に努めていけるよう、研修への参加や分かりやすい資料の提供を積極的に行う
- 感染症対策で親子遠足、お別れ遠足、あさひなのはな会を中止としたが、そのほかの行事に関しては安全を考慮しながら、例年とは違った方法で実施することができた
  また、新たに卒室お祝い会を実行し、子どもの成長を保護者に伝える場を設けることができた
  次年度以降も、行政の施策に臨機応変に対応しながらも、保育のねらい、子ども達に必要な経験などをできる限り損なわないように努めたい
- 目標とする保育内容については、全体会議や個別対応により職員間での周知ができたが、保育者によって年齢相応や目標としない指導が見られた
  全体会議で小規模保育施設の良さなどにも触れ、全職員が理解し、連携して子ども達個々に寄り添った保育を意識して取り組んでいけるよう努める
- 子ども達の遊びの中で、保育者との関わりや自ら遊びを展開していくという点において話し合い実践を進めた為、同じ玩具でも様々な遊びに発展させながら集中して遊び込んでいる子ども達の様子が多く見られるようになった
  次年度も継続して保育者それぞれの研究と実践を積み重ねていく